

一問一答 刑事訴訟法（下巻）改訂新版

■p. 38 問題 10 解答・解説

解答及び解説を以下のように訂正いたします。

解 答：×

解 説： 弁護士が被疑者から預かった証拠品は、被疑者の秘密に当たり、刑訴法 105 条ただし書に規定する「被告人が本人である場合を除く。」に該当する。したがって、権利の濫用と認められることなく、弁護士は押収を拒絶することができる。

■p. 254 問題 5 解答

解答を以下のように訂正いたします。

誤：×

正：○